

## アパレル・総合

ミシン糸メーカーのフジックスは、使用済みペットボトルの高度なジックスは、使用済みペットボトルを原料とした再生ポリエステル糸「フィラメント」を開発、販売を始めた。五〇番手の本縫い用で、色数は五十色を揃えている。写真。エウオの再生ポリエステル糸は、東レの「&+ (アンドプラス)」と。ペットボトルリサイクル原料に含まれる異物を除去し、高品位な原料とするフィルタリング技術供給している。

＝フジックス＝  
再生PET使いの  
フィラメント糸発売  
環境対応と可縫性向上



フジックスは、十の原料を使い、新たな工夫も取り入れてフィラメントミシン糸を開発した。適度なループ毛羽を持たせ、従来のフィラメント糸より優れた可縫性を実現。またループ毛羽の被覆性によりロック糸としても対応できるという。糸長は三千ヤ。六〇番、三〇番も順次展開する予定。

## 総合送りミシン発売

厚物縫製の生産性を向上

ブラザー工業は、工業用ミシン「NEXIO (ネクシオ)」シリーズで総合送りミシンを新たにラインアップし、九月一日から国内販売を開始する。エアバッグ・カーシートや皮革製品(かばん、家具など)の厚物縫製に対応するミシンで、一本針タイプの平ベッド本縫いダイレクトドライブ総合送り自動糸切りミシン「UF-8910」。



# 東京本社に「価値創造研究所」

## モノ作り背景に新ビジネス創出

### 丸和繊維工業

カットソーメーカーの丸和繊維工業(東京、深澤隆夫社長)は、東京本社に「価値創造研究所(価値研)」を立ち上げている。サンプル、開発商品を生産するだけでなく、技術者の育成をはじめ若手デザイナー、インフルエンサーなどを支援するインキュベーション機能、リメイクなど循環型への対応など、モノ作りの背景に「新しい価値をどう生み出すか」(深澤社長)を目指す。

## 人材作り、インキュベーションへ

価値研は四月からスタート。これまでサンプルや小ロット生産を手掛けていた技術開発グループをベースに、新卒者を含め三人増員し八人で発足した。「高コストの東京でモノ作りをしても採算が合わないと言われるが、発想を転換し、機能そのものを考える」のが狙いだ。

「アパレルをやりたい」という本志の高い人たちにサポートするインキュベーションの場を目指す。「若手が世界へ羽ばたくため、一緒に成長を支える役割を果たしたい」という。また循環型社会に対応し、商品サイクルを長くするためのリメイクやお直し仕組、縫製という独自技術



技術を磨き新たな価値作りを目指す「価値研」

## デジタル

### オンワード商事のユニサンプル削

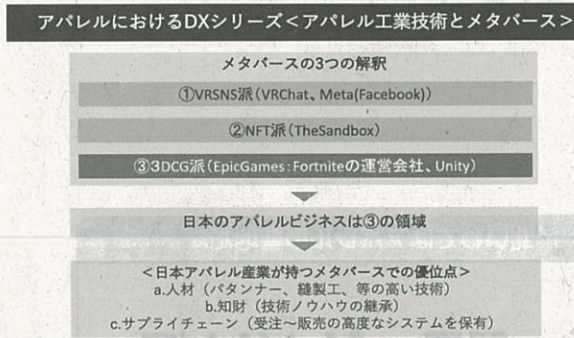
オンワード商事は、サステイナブル(持続可能)なモノ作りを目指して、昨年からユニフォーム製作のデジタル化を加速させてきた。アパレル3D着装シミュレーションシステム「CLO」(ユカアンドアルファ)を導入し、サンプル製作数で四〇%削減の事例もある。サイズ推奨からオーダー集計業務までリモート採寸を実現する「UOS

## 服づくりの未来を創る

東レACS

## メタバースによってアパレル工業技術がどう変化するか

「世界2.0メタバースの歩き方と創り方」の著者である佐藤航陽氏は、現在メタバースの定義がしっかりと定まらず、きちんとした議論がされていないと言及する。佐藤氏によるとメタバースを整理すると、①VRSNS派②NFT派③3DCG派といった三つの解釈があり、それぞれのベースとなる技術が全く違っていることを認識する必要があるとのこと。その三つを大まかに説明すると以下のよう



上高は四百億(約五兆円)ともいわれている。バーチャルのみの話で、実際の衣服の売り上げとは関係ないとの意見もある。しかし、メタバースで購入したアパレル用の衣服と同じ衣服を購入できる権利を売るといふビジネスもすでに生まれている。メタバースで

織田ファッション専門学校が  
高校生デザインコンテスト  
全国から851点の応募

織田ファッション専門学校は先月十八日、高校生デザインコンテスト入選作品のショーと表彰式を東京・中野の同校グリーンホールで開いた。九回目となる今回は全国から八百五十一名の応募があった。

入選作品が応募者や素材の要

鈴木貴子学  
ンプリの表  
馬里弥さん